



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第7回「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう②(落葉樹・果樹編)」

日 時：令和4年11月12日(土) 9:30～12:30

会 場：羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)



今回の講座の流れ

樹木の性質や特性に応じた、剪定の考え方や方法について学びました。作業を始める前に「安全・安心に活動するための8項目」を確認し、実習では、低木の剪定・実生木の撤去・ひこばえの除去作業をしました。

各プログラムの様子



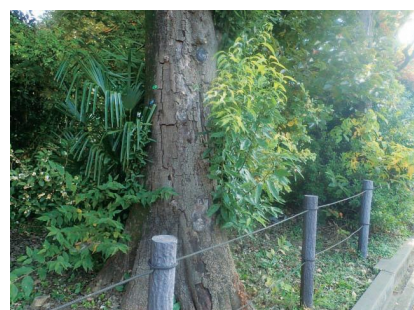
講義の様子



講義の様子



実習の様子



作業前



作業後

憩いの森の低木管理(落葉)

落葉樹と常緑樹の生活サイクルの違いと、剪定期間の考え方について講義がありました。また、今回剪定する樹木の特徴を踏まえ、作業の手順・方法を復習しました。他に、果樹(憩いの森に多い、ウメ・かんきつ類)の剪定のポイントを学びました。

安全管理の確認

作業場所が道路際だったので、現場の状況確認(作業量・手順の把握、交通量の確認)、作業中の声掛け(車両や通行者の注意)を重点的に行いました。

剪定作業

この時期のオオムラサキツツジやアジサイは、花芽分化が進んでいるため、剪定には適していません。しかし、今回は道路に越境した枝の更新と、混み合った枝の整理を目的として、憩いの森側の花芽を、なるべく残すように注意しながら剪定しました。

ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

今回のキーワード

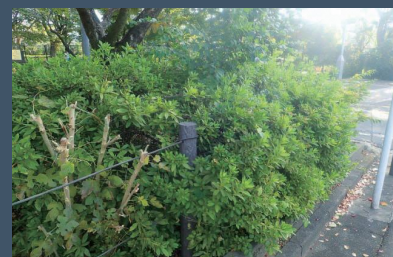
土地の利用に合わせた お手入れをしよう

(一社)練馬環境造園協会

公的な空間は私有地と比べ、利用する人も、使われ方も異なります。それに伴い、植物の見せ方やお手入れ方法も変えることが大切です。例えば、日当たりの良い道路際にある低木は成長が速くなります。良好な見通しを確保するには、1度の刈込では足りません。古い枝の更新や枝抜きを行い、株の大きさをコントロールする剪定が必要です。また、曲がり角の植栽は、少し低めに仕立て、見通しの確保をする等の工夫をするとよいでしょう。お手入れ方法を工夫して、公共緑地を誰もが利用しやすい場所にしていきたいです

森でみつけた!

道路と敷地の境界



みどりと人の関係は時代によって変化します。かつて大切な資源として利用されていた落ち葉は、今では道路に落ちるとゴミとして認識されることが増えました。敷地の外に落ちた実も、まちを汚すものとして迷惑がられることもあります。安全のために、境界から枝葉が飛び出さないようお手入れをすることはもちろん、近所の方との関係づくりや、子どもが自然に触れる機会を増やすなど、貴重なみどりを誰もが大切に思えるような環境を作れるといいですね。